

令和6年度 筑波大学 人文社会科学研究群 公開講座

# 筑波大学大学院で 日本語教育を研究する2024

2024年 8月 21日(水)~8月23日(金)

3日間とも 13:00~16:00

日本語教育で  
将来を考える人  
集まれ!!

参加費：無料

参加対象：真に進学を希望する方（今年度以外も可）

参加申込：<https://forms.gle/P6SjCeEmyAEyJee6A>

参加者上限：各日 100名（抽選）

参加の可否は1週間前を目処にお知らせいたします。

申し込みが多数の場合は早期に申し込みを打ち切る可能性があります。



参加申込

Zoom ミーティングでの各研究室の紹介のあと、  
ブレイクアウトルームで自由に各研究室の教員や大学院生に話を聞くことができます。

主催：筑波大学 人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム 日本語教育学領域

協力：筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター 日本語教育部門

筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター 日本語・日本事情遠隔教育拠点

問い合わせ先：関崎博紀（筑波大学 人文社会系 准教授） [sekizaki.hironori.ke@u.tsukuba.ac.jp](mailto:sekizaki.hironori.ke@u.tsukuba.ac.jp)

[a] を @ に書き換えてください。

**D  
A  
Y  
1**

13:00 - 14:35

筑波大学 人文社会系 教授

**高木 智世**

「言葉のやりとりを可能にするしくみ」

筑波大学 人文社会系 准教授

**文 昶允**

「探検、ことばの世界—音声学・音韻論の観点から」

筑波大学 人文社会系 助教

**三好 優花**

「「いつ使うのか」が分かる日本語教育文法」

筑波大学 人文社会系 准教授

**ブッシュネル ケード**

「外国語は楽しみながら身につける」

14:40 - 16:00

**当日登壇の教員 + 院生がブレイクアウトルームにて懇談**

4回 × 20分で自由に教員や学生と話すことができます。

具体的な指導環境や学生目線からの学生生活などを自由に聞くことで自身の学生生活をイメージしてください。



**D  
A  
Y  
2**

13:00 - 14:35

筑波大学 人文社会系 准教授

**ヴァンバーレン ルート**

「社会と言語教育の関連を考える」

筑波大学 人文社会系 准教授

**伊藤 秀明**

「学習環境から創りだす日本語教育/学習」

筑波大学 人文社会系 准教授

**関崎 博紀**

「日本語の雑談の巧みさを学習者はどう習得するか」

筑波大学 人文社会系 助教

**波多野 博顕**

「定量的アプローチから考える音声コミュニケーションとその評価」

14:40 - 16:00

**当日登壇の教員 + 院生がブレイクアウトルームにて懇談**

4回 × 20分で自由に教員や学生と話すことができます。

具体的な指導環境や学生目線からの学生生活などを自由に聞くことで自身の学生生活をイメージしてください。



13:00 - 14:35

筑波大学 人文社会系 教授

**小野 正樹****「語用論と実用論から見る日本語教育」**

筑波大学 人文社会系 助教

**チョーハン アヌブティ****「文法習得に影響するもの—言語普遍的な要因と言語個別的な要因」**

筑波大学 人文社会系 准教授

**稗田 奈津江****「母語話者と非母語話者の比較を通して考える」**

筑波大学 人文社会系 助教

**岩崎 拓也****「日本語教育における句読点研究の潮流と課題」**

14:40 - 16:00

**当日登壇の教員 + 院生がブレイクアウトルームにて懇談**

4回 × 20分で自由に教員や学生と話することができます。

具体的な指導環境や学生目線からの学生生活などを自由に聞くことで自身の学生生活をイメージしてください。



## <昨年度までの参加者の声>

- 一度に多くの先生方のお話を伺う機会があり、また院生からもゼミの様子や受験のことなど赤裸々なお話を伺うことができ、抱えていた不安も解消されました。
- 実際にお話を伺うことで、大学院で研究するのはどういうことかのイメージを掴むことができました。自分の興味、関心から、社会への課題を見つけて研究計画を練っていきたいと思います。
- 進学は悩んでいたのですが、お話を伺って前向きな気持ちになりました。
- 所属する先生のバックグラウンドや研究の話聞く時間、先生・院生の方とブレイクアウトルームで話をする時間が程よく設けられており、とても良かった。
- インターネットで得られる情報だけではない「生の情報」をこの公開講座で伺うことができ、とても貴重な機会となりました。
- 先生に研究についてメールをお送りするのに勇気が必要で一步が踏み出せませんでしたでしたが、こうしたイベントがあり、参加できてよかったです。
- 現在自分が直面している問題についても重ねてお話を聞くことができ、また1人1人の先生方のお話を聞き、自分がどんな道で挑戦したいか、どんなことを学びたいかを考えるきっかけになりました。